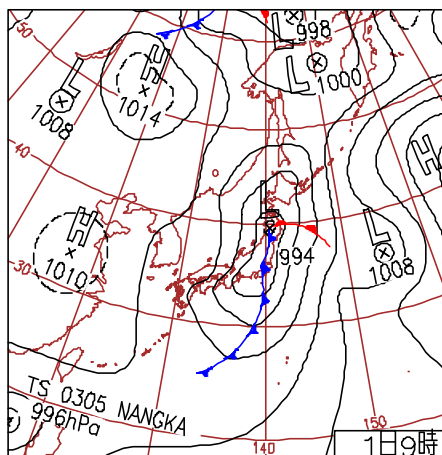


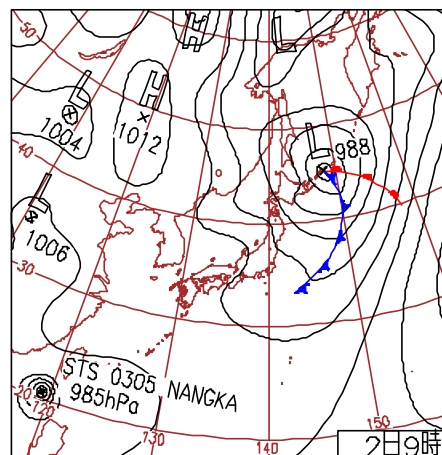
2003年 6月

- ・9日～12日、九州南部～東北北部で梅雨入り。
- ・16日～18日、九州中心に大雨。
- ・18日～19日、台風第6号が九州西海上を北上。18日西表島、19日対馬を通過。
- ・23日～25日、西日本～東海・関東甲信で大雨。25日近畿で浸水と落雷による被害。



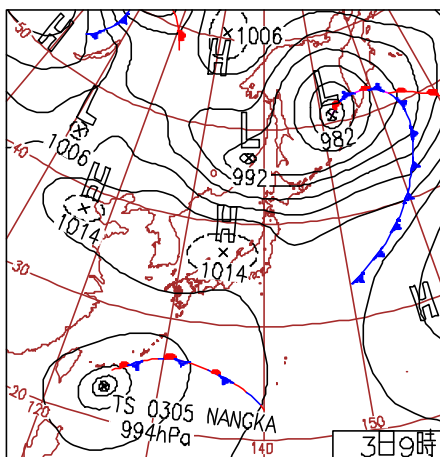
1日(日)台風第5号発生

低気圧が東北地方を北東へ進み、低気圧から伸びる前線が本州を通過。西日本から次第に天気回復。関東では夕方になって日照が出る。09時南シナ海で台風第5号発生。



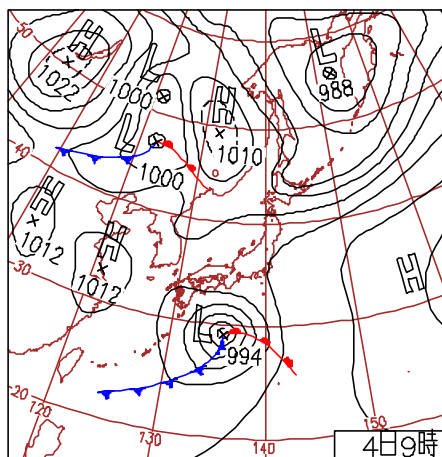
2日(月)全国的に晴れ

宮古・八重山地方を除いて、全国的に晴れ。東・西日本で日照時間が10時間以上。最高気温は、平年より日本海側で低く、太平洋側で並が高い。宮崎と潮岬ではアジサイが開花。



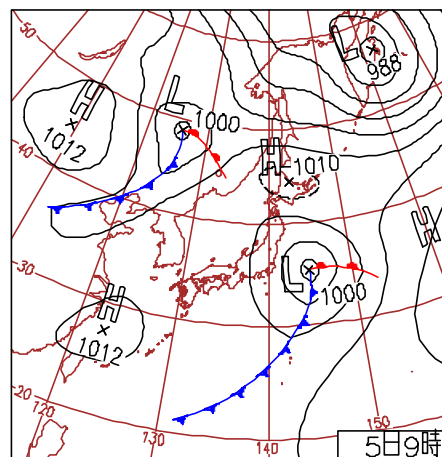
3日(火)台風第5号東北東進

日本付近は弱い高圧部となり九州を除き概ね晴れ。日本付近の上空500hPaは西南西の流れで、台風第5号はこの流れに沿って沖繩の南海上を速度を速めながら東北東進。



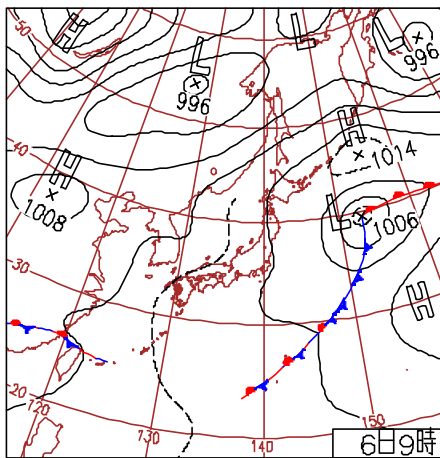
4日(水)台風第5号温低に

台風第5号は四国の南で温帯低気圧となり本州南岸を北東進。太平洋沿岸で雨、沖縄・北海道で晴れの他は曇り。関東～近畿では昼間の気温低く、飯田で平年に比べ8.4 低い。



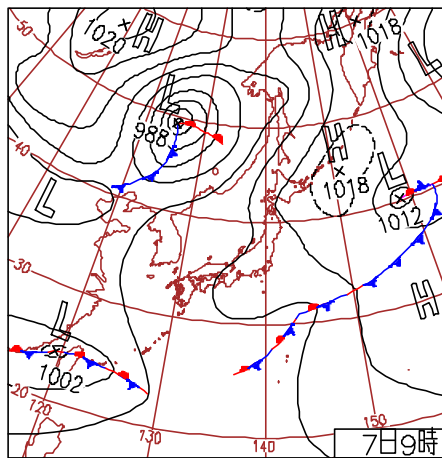
5日(木)真夏日続出

台風から変わった低気圧が暖かい空気を運び、日本付近は沖縄と北海道の高圧部に覆われ全国的に晴れ。東・西日本の内陸部では気温が上昇。関東地方で今季初の真夏日。



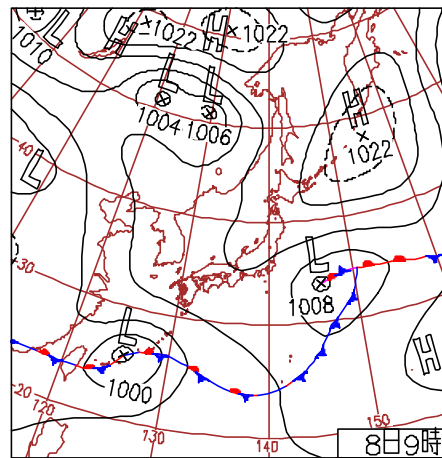
6日(金)沖縄に梅雨空戻る

全国的に高気圧に覆われて晴れたが、沖縄では梅雨前線の影響で雨。東北・関東の東沿岸部ではオホーツク海高気圧の影響で下層雲広がり、一部で霧を観測。



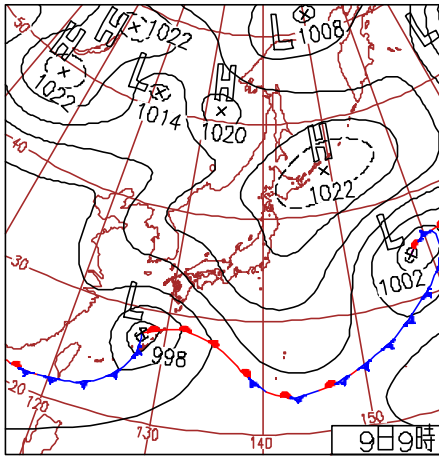
7日(土)京都で降雹観測

寒気が入り西日本から関東の広い範囲で雷雲が発達。京都では直径1cmの雹、河口湖でも降雹を観測。北日本は晴れ東日本は上層雲に覆われた。先島では梅雨前線の影響で強い雨。



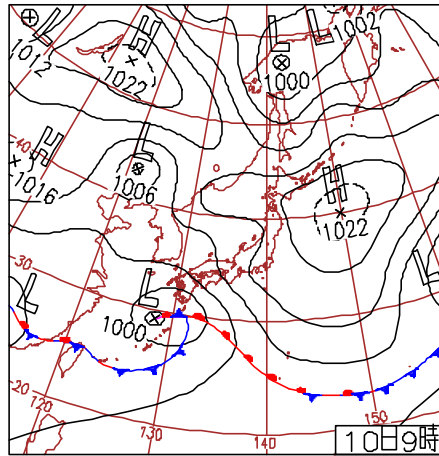
8日(日)南西諸島で前線活発

日本付近は高気圧に覆われ全国的に晴れ。佐賀市の最高気温33.0 は今季最高。奄美・沖縄では梅雨前線の活動が活発となり、与那覇岳で日降水量237mm、金武町で1時間47mm。



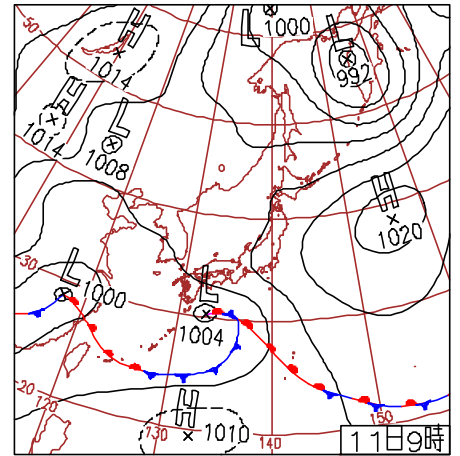
9日(月)九州北部・南部入梅

日本付近は高気圧に覆われ北日本は概ね晴れ、沖縄・九州では雨。前線を伴った低気圧が北東進し、九州に近づく。九州北部・南部では梅雨入り。それぞれ昨年より1日早い。



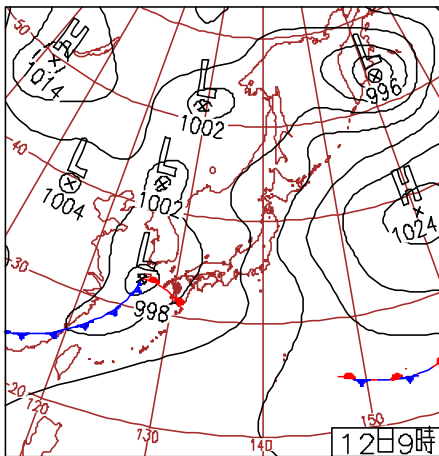
10日(火)各地で梅雨入り

九州付近の低気圧はほとんど停滞。低気圧や前線の影響で九州～東海の太平洋側を中心に雨、北日本では曇り。中国、四国、近畿、東海、関東甲信地方で梅雨入り。



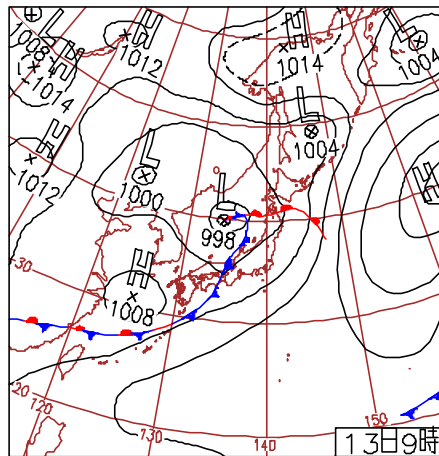
11日(水)北海道の一部で真夏日

日本の東海上の高気圧に覆われ、北日本は晴れ。この高気圧の勢力が強いため、朝方まで本州中部に広がっていた梅雨前線の降水域は本州南岸まで南下。



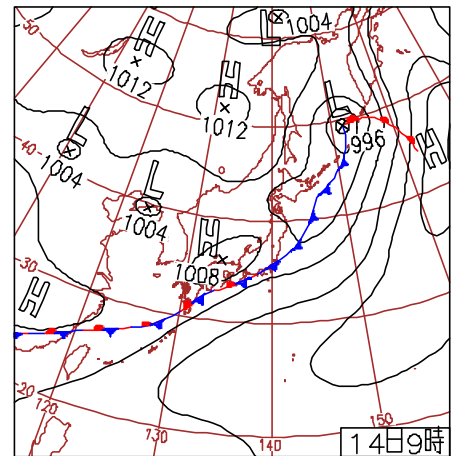
12日(木)北陸・東北地方入梅

低気圧が対馬海峡を通過。北海道を除いて全国的に曇りや雨。九州の所々で日降水量50mm以上、厳原で124mm。入梅は北陸・東北南部は平年より2日遅く、東北部は平年と同じ。



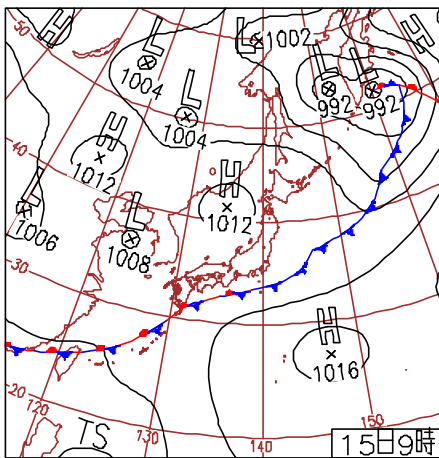
13日(金)アジサイ開花

日本海の低気圧から延びる前線が東・西日本を通過。前線近傍では雨。その他は曇り。最低気温全国的に高く、新潟では23.4と7月下旬並み。金沢ほか8官署でアジサイ開花。



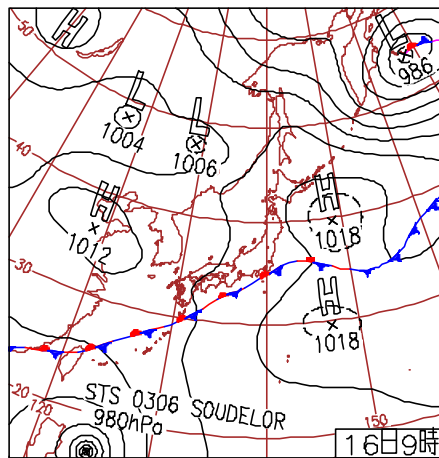
14日(土)東京で真夏日

梅雨前線が本州南岸にゆっくり南下、西日本では雨や曇り。関東地方は昼過ぎまで晴れ間もあり、各地で真夏日を記録。東京の最高気温は30.3で今季初の真夏日。



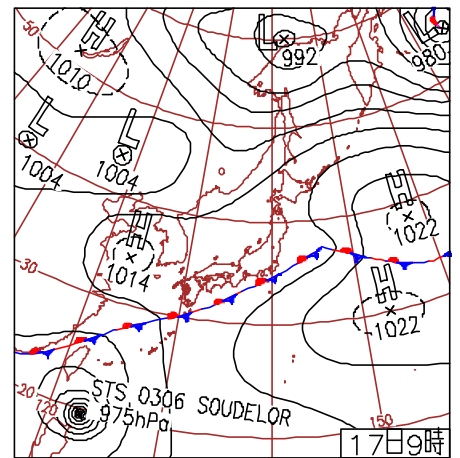
15日(日)梅雨前線南岸停滞

東海から西の本州南岸沿いでは前線の影響で雨。前線から離れた北海道、沖縄では晴れ、それ以外は曇り。台風第6号は北上し、沖縄に向かう。



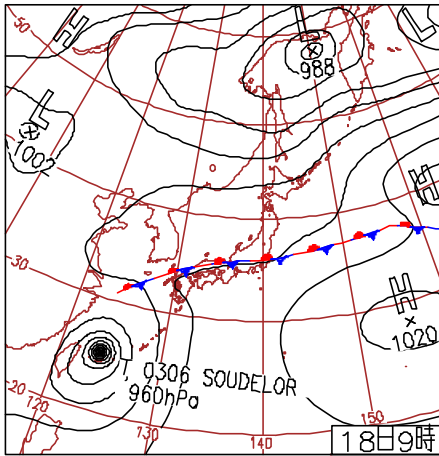
16日(月)全国的に梅雨空

梅雨前線が本州南岸から沖縄付近に停滞。北海道を除いて全国的に曇りや雨。宮崎・鹿児島で日降水量が50mm以上、屋久島の屋久町では157mm。福島県で震度の地震。



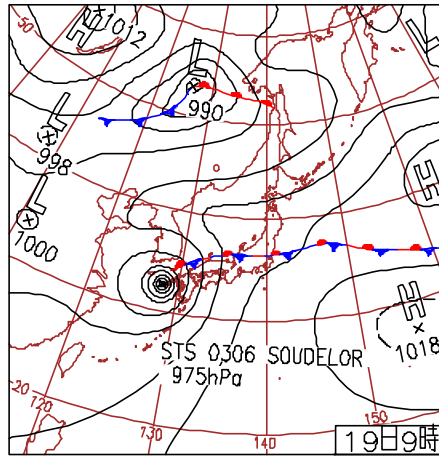
17日(火)九州地方で大雨

梅雨前線は日本の南岸にゆっくり南下し停滞。太平洋側で全般に雨。熊本・宮崎・鹿児島県で日降水量150mm前後の大雨。沖縄・北海道では曇り、一部で晴れ。



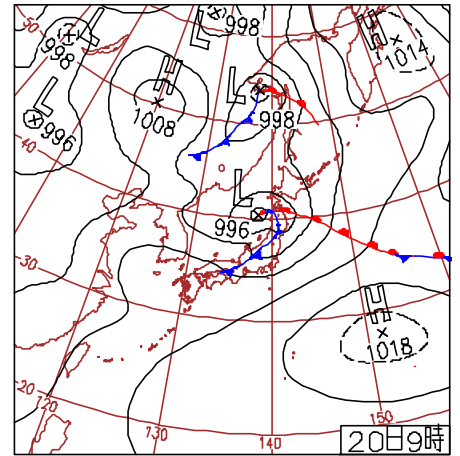
18日(水)先島諸島は暴風域

06時過ぎ西表島付近を通過した台風第6号は東シナ海を北上、15時には955hPaに発達。台風の北上に伴い前線活発化、九州～四国の太平洋側では1時間に20～30mmの強い雨。



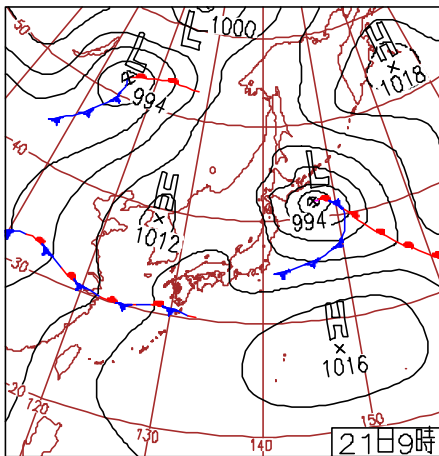
19日(木)台風第6号対馬通過

長崎県が暴風域に入り、福江で最大瞬間41.2m/sを記録。宮崎では3トンの保冷車が竜巻と見られる強風で横転。東日本では台風からの暖気と日照で昇温、各地で真夏日。



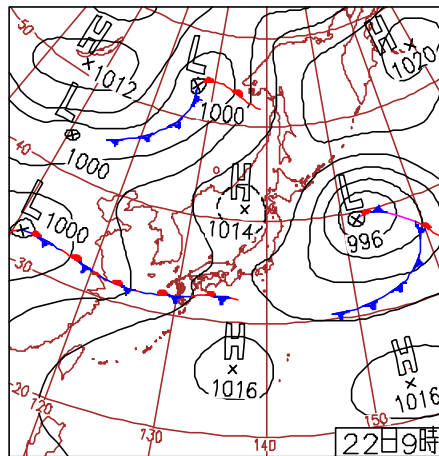
20日(金)今季初の35 以上

台風第6号は00時に温帯低気圧に変わった。北海道ではこの低気圧の影響で曇りや雨。内陸を中心に気温が高く、最高気温は群馬県の伊勢崎で36.1、甲府で35.5等。



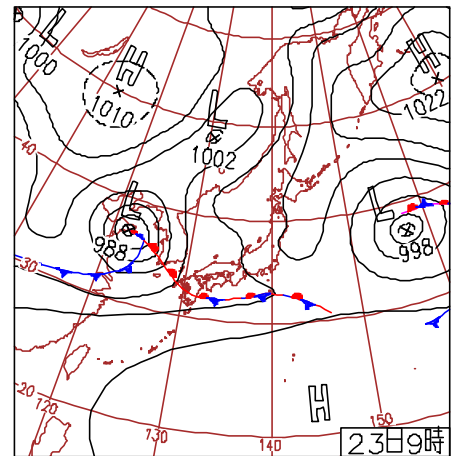
21日(土)各地気温高め

西日本は前線の接近で曇りから雨。その他は晴れや曇り、気温軒並み高め。苫小牧・宮古・小名浜では平年に比べ10 以上高い。小名浜では、33.2 と6月の記録2位。



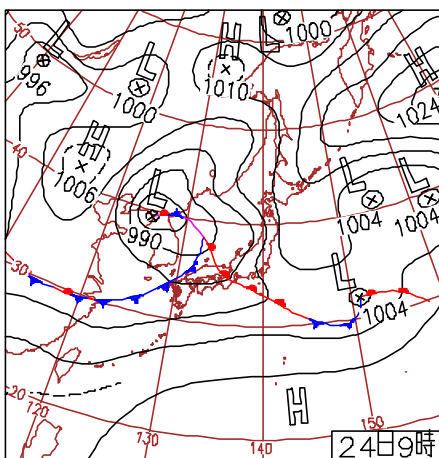
22日(日)西から下り坂

前線の影響で九州や四国は朝から雨、夜遅くには雨域が関東地方まで広がる。高気圧に覆われた北日本は概ね晴れ。関東は午前中日照もあり気温上昇、東京は3日連続の真夏日。



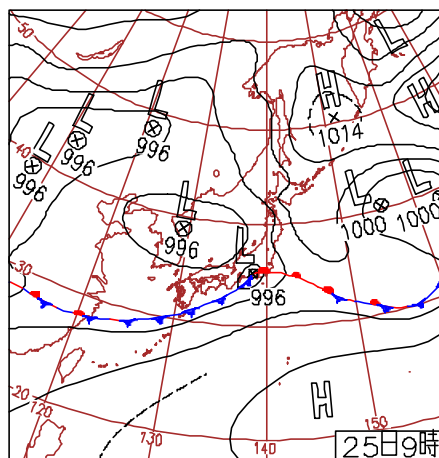
23日(月)梅雨前線活発化

東シナ海の寒冷低気圧から前線が九州を横断し関東南岸に延びる。このため西日本から関東南岸にかけて雨。北日本・沖縄は、それぞれ高気圧の勢力圏で晴れ。



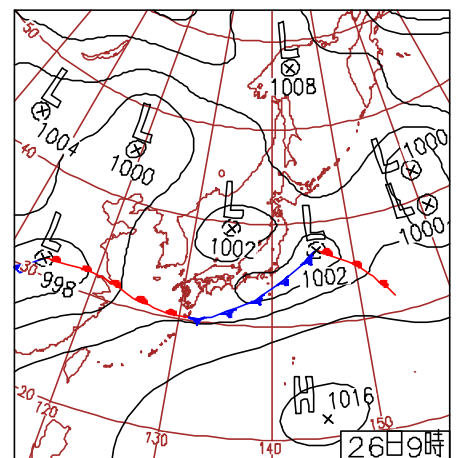
24日(火)近畿・東海で大雨

梅雨前線は西日本に停滞。西日本を中心に雨が降り続く。日降水量が三重県の菟野町で180mm、岐阜県の久瀬村で144mm、京都市で115mm、神戸市で110mm。



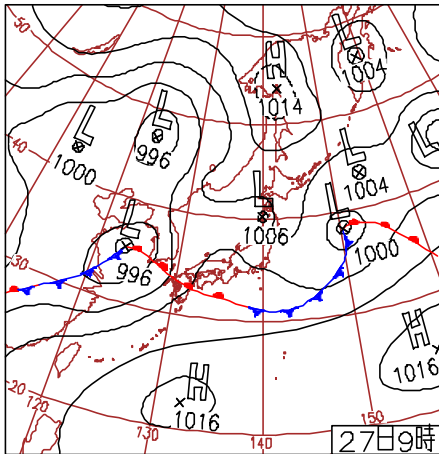
25日(水)短時間強雨

梅雨前線を伴った低気圧が本州南岸を東進。近畿～関東甲信地方の所々で雷を伴い140mm前後の短時間強雨。東北地方でも雨、その他は全般に曇り。近畿で浸水と落雷被害発生。



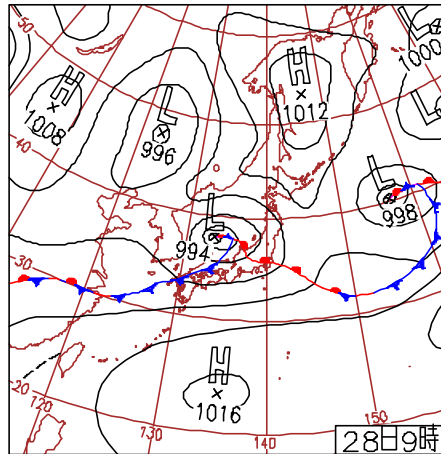
26日(木)不安定降水

日本海に寒気を伴った低気圧がありその影響で日本海側は朝から雨。夕方から夜に関東地方でも雷雲が発達し、所々で短時間強雨。梅雨前線が南下したため四国や九州は晴れ。



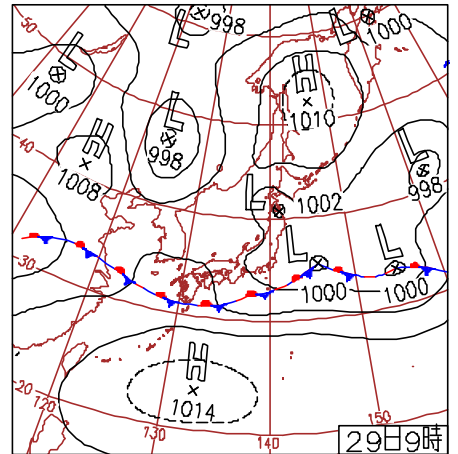
27日(金)奄美で梅雨明け

黄海に低気圧があり東進。温暖前線の雨域が九州から近畿に移動。北日本は寒気を伴った低気圧が残り、雨や曇り。前線の北上により奄美地方は梅雨明け、平年より3日早い。



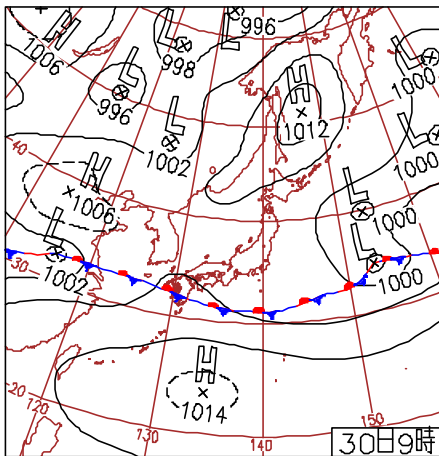
28日(土)西・東日本で雨

梅雨前線上を低気圧が通過。西・東日本で雨。九州の所々では日降水量が100mm以上で、熊本県の白水村では195mm。北海道と南西諸島ではそれぞれ高気圧に覆われ概ね晴れ。



29日(日)梅雨前線南下

低気圧が三陸沖に進む。前線は日本の南に南下。北海道と九州南部で雨。全般に曇りとなるが晴れた関東の一部では真夏日で、風弱くスモッグ気象情報を発表。



30日(月)北日本で低温

オホーツク海高気圧の影響で北日本を中心に気温が平年より低く、網走の最高気温11.2は4月下旬並み。関東北部で昼過ぎから雷雲が発達、山沿いを中心に局地的に激しい雨。